

330-A地区第53回年次大会決議報告書

ライオンズクラブ国際協会 330-A地区
キャビネット幹事 L 野 崎 武

【代議員総会】

1. 2007-2008年度330-A地区ガバナー選出の件 (地区ガバナー提案)

〔決 議〕

東京荒川LC所属のL飯田善彦（いいた よしひこ）が、ガバナーエレクトに賛成多数で選出された。

2. 2007-2008年度330-A地区副地区ガバナー選出の件 (地区ガバナー提案)

〔決 議〕

東京八王子陵東LC所属のL石井征二（いしい せいじ）が、次期副地区ガバナーに賛成多数で選出された。

【政策・会則・長期計画分科会】

1. 「ライオンズ総合事務所」に関する継続協議の件

(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

趣旨説明がL清水治（総合事務所建設準備委員会委員長）からなされた上で審議し、原案通り協議、推進することが賛成多数により可決承認された。

2. シンポジウム

テーマ①「330-A地区内各クラブ活性化のための長期的展望に立った計画案について」

〔報 告〕

上記テーマについて活発な意見交換が行われ、いくつかのクラブの実例が報告されるなど、大変有意義なシンポジウムとなった。

テーマ②「今後整備すべき制度及び規定について」

〔報 告〕

女性参加に関する委員会、合併問題の研究に関する提案が多数なされ、活発な意見交換が行われた。

【経理・会計処理分科会】

1. 2006-2007年度330-A地区上半期会計報告書承認の件

(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

原案通り賛成多数により可決承認された。

2. 2005-2006年度330-A地区会計報告書承認の件

(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

原案通り賛成多数により可決承認された。

3. 2007-2008年度地区クラブ費として1クラブ1ヶ月3,000円拠出の件

(副地区ガバナー提案)

〔決 議〕

原案通り可決承認された。

4. 2007-2008年度地区費として1メンバー1ヶ月440円拠出の件

(副地区ガバナー提案)

〔決 議〕

原案通り可決承認された。

5. 2007-2008年度地区特別運営費として1メンバー当たり200円拠出の件

(副地区ガバナー提案)

〔決 議〕

原案通り可決承認された。

6. 2007-2008年度地区大会費として1メンバー1ヶ月100円拠出の件

(副地区ガバナー提案)

〔決 議〕

原案通り可決承認された。

7. 2007-2008年度地区特別大会費として1メンバー1ヶ月50円拠出の件

(副地区ガバナー提案)

〔決 議〕

原案通り可決承認された。

8. 2004-2005年度の会計処理の調査報告の件

(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

審議の結果、次期飯田ガバナー期において調査委員会を設け、調査を継続し結論を出すことが可決決定した。

9. 2005-2006年度の会計処理の調査報告の件

(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

議案2で審議の結果、可決承認された。

10. 未収入金(第52回年次大会決議による2002-2003年度の会計処理に関する
解決金)の状況報告の件

(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

「第52回年次大会決議で、今井元ガバナーと村木元幹事が解決金(今井元ガバナー金210万円、村木元幹事金70万円)の支払をすることが決まっているのに、両氏は今日までその支払をしていない。決まったことを守らない両氏はライオンズメンバーとしてふさわしくない。よって今井元ガバナーと村木元幹事に退会を勧告する。」との動議が提出されたが採決はとらず、議事に記録することとなった。また、この件についての今後の取扱は森山ガバナーに付託された。

【会員・エクステンション・IT・PR分科会】

1. 「2007－2008年度330－A地区アクティビティ・スローガン決定」の件

〔決 議〕

東京荒川LC提案のスローガン「感動の共有」に決定した。

2. シンポジウム

テーマ①「会員増強のための方法論及び地区としての取り組み方」

〔報 告〕

上記テーマについて活発な意見交換が行われ、質の向上、若い会員の勧誘に関する多数の提案がなされ、大変有意義なシンポジウムとなった。

テーマ②「ライオンズクラブにおけるIT推進の必要性」

〔報 告〕

上記テーマに関連して、「WMMR」「サバンナ」等に配慮し、慣れ親しむこと、また携帯電話による例会通知配信等、パソコン以外のインフォメーション・テクノロジーとも慣れることの必要性等について活発な意見交換がなされた。

【国際大会・緊急援助分科会】

1. 「シンポジウム」

テーマ①「国際大会の意義」

〔報 告〕

日本ライオンズの出席代議員数が各国の代議員と比較して常に少ないため、この度8複合地区国際大会委員長会議の決議により、日本全国から800名以上の代議員の上席を確保し、各自が投票権の権利と義務を行使するよう推進することについて改めて確認した。

テーマ②「330－A地区としての緊急援助実施要綱について」

〔報 告〕

上記テーマに関連し、「東京直下型地震」による緊急災害への対処について活発な意見交換が行われ、大変有意義なシンポジウムとなった。

【アクティビティI分科会】

1. 330－A地区「環境憲章」一部訂正の件

(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

趣旨説明が環境保全委員会委員長L風間昭からなされたうえで審議し、「ライオンズクラブ国際協会330－A地区は、われわれの子孫へ未来を継続するため、ライオンズの奉仕の精神に則り、各クラブ、メンバーが手をつなぎ、地球環境保全活動を推進するものとする。」と修正することが賛成多数により可決承認された。

2. アクティビティプログラム3ヵ年計画の一部変更の件

(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

趣旨説明が環境保全委員会委員長L風間昭からなされたうえで審議し、「330-A地区環境保全問題アクティビティプログラムの3ヵ年計画」を「5ヵ年計画」と変更することが賛成多数により可決承認された。また上記案件に関連し、常設委員会を設置し単年度の活動ではなく継続的な活動とすることを提案することで意見が一致した。

3. 「シンポジウム」

テーマ①「CSFⅡの最終年度における取り組み方」

〔報 告〕

CSFⅡ(2005～2008)について、330-A地区の目標達成率は46%前後であり、目標達成のためには地区コーディネーター、グループ・コーディネーター、ゾーン・コーディネーターの皆様と共に組織を挙げて取り組むことが重要であること、また、各クラブにおいてはモデルクラブ、MJF献金の増強、チャリティーゴルフ、チャリティーコンサート、周年行事の記念事業、街頭募金活動の推進等に取り組む努力することが必要であることが確認された。

テーマ②「地球温暖化問題に関するライオンズクラブとしての取り組み方」

上記テーマについて活発な意見交換がなされ、環境保全の重要性を地域社会にPRしていくことが確認された。

【アクティビティⅡ分科会】

1. 「シンポジウム」

テーマ①「薬物乱用防止活動に関する今後の課題」

〔報 告〕

上記テーマに関連し、6/8薬物乱用防止全国大会の重要性、メンバーの参加推進、地域の子供たちを招待することが確認された。また、多くのメンバーが認定講師となり薬物乱用防止教室の実施を推進することが確認され、大変有意義なシンポジウムとなった。

テーマ②「YE活動における今後の課題」

〔報 告〕

YE委員会委員長L鷹箸貞夫より活動報告があり、熱のこもった意見交換がなされ大変有意義なシンポジウムとなった。

【アクティビティⅢ分科会】

1.「シンポジウム」

テーマ①「献血活動における今後の課題」

〔報 告〕

12R1Zゾーン・チェアパーソンL芦田公より献血活動についての話があった。また、献血・エイズ委員会委員長L吉田實より活動報告があり、上記テーマについて活発な意見交換が行われ、大変有意義なシンポジウムとなった。

テーマ②「骨髄移植・献眼・献腎のアクティビティ」

〔報 告〕

献眼・献腎・骨髄移植推進委員会委員長L矢部正二より活動報告があり、上記テーマに関連し骨髄移植への理解、また各協会への協力について活発な意見交換が行われ、大変有意義なシンポジウムとなった。

以 上